

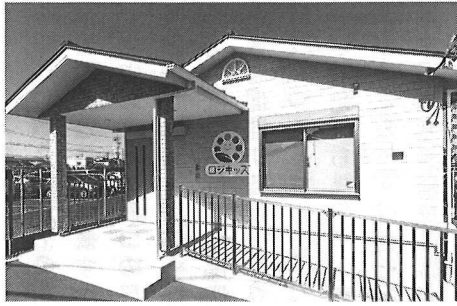
きと働いてほしい」との深慮から。管理スタッフらが温度管理や衛生管理などを学びながら、地域の環境に合わせてキクラゲの栽培に乗り出しました。順調にいけば、三週間ほどで出荷が可能になります。障がいのあるスタッフは、石づきのカットや、洗浄をする作業を担当しています。「繰り返し作業なので、一旦覚えてしまえば、楽しく働ける職場になっています」と担当者は話します。近くには直売所があり、一般の人が購入することもできます。現在、市場に巡回する商品の95%が中国産なので販売ルートに軌道にのせて、障がい者雇用の促進を図るのが課題です。

さらに、パート従業員や社員のために「企業内保育所」を設置。職場に保育所があることで、小さな子どもを持つ従業員が安心して働きやすい職場の環境を整えています。市内のみならず事業所のある瀬戸や豊田、長久手市などへも拡大し、現在は五か所にキッズスペースがあります。四代目社長は四人の子宝に恵まれた父親。「(自身の経験から)働く人の立場で子育て支援にも積極的に取り組んでいます」と社員の皆さんにも喜ばれています。現在のパート

従業員の多くは四十から五十代の子育てを一段落させた女性たち。将来を考えると、「未来の働き手のために、今から職場を整えておく必要がある」と決断したこと。から。「持続可能な開発目標」を意図することなく、従業員が「長く安心して働くことができる環境」を提供しています。

若い世代を支援するプロジェクトを発信し、中部大学の学生と連携して今年三月には、SDGs関連の絵本「じよろん じよろくん」を出版しました。学生が考えたストーリーを絵本作家に絵付けしてもらい完成させました。環境や節水の大切さを学ぶことができる本です。販売前のイベントで、本を手にした現役アナウンサーが感銘し、読み聞かせの発声をレクチャーするという思わぬ協力者も出現した保育所で絵本の読み聞かせをして、幼児に喜ばれる絵本作りへのリサーチも怠りません。同社の全国の書店やECサイトで発売しています。プロジェクトは多岐にわたり、創意工夫で社会貢献事業に光を当てています。

同社の勢いは留まるところなく、メディアにも進出。CBCラジオ番組「石塚元章 ニュースマン」



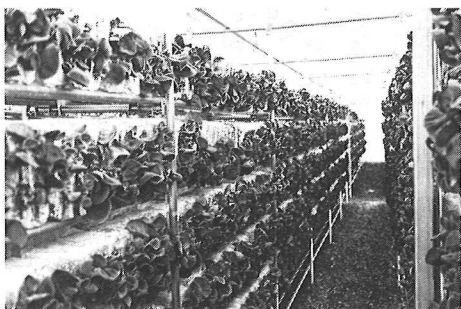
ロジキッズ朝宮 (ホンダロジコム提供)



ロジキッズ朝宮子ども達 (ホンダロジコム提供)



ファーム従業員 (障がいのある方)  
(ホンダロジコム提供)



ファーム内観・キクラゲ栽培 (ホンダロジコム提供)

の中で「Your SDGs 地球の未来」のコーナーを担当しています。SDGsに積極的に取り組んでいる団体を紹介しています。(西村里美記)